



フローティングロープシリーズ

#FWG0101 スローバッグ 22

#FWG0107 ゴージュバッグ 25 #FWG0108 ゴージュバッグ 15

#FWG0104 クイックレスキューベルト

本品はカヌー・カヤック・沢登り・渓流フィッシングなどのウオータースポーツやスキーツアーなどの雪上の補助用ロープに特化した伸びが少なく水に浮き凍りつきにくいロープを使用しています。

本品のロープに使われている繊維は水に浮く・吸水しにくい・伸びが少ない事などを前提に、被覆をポリプロピレン繊維で中芯を高強度ポリエチレン(ダイニマ®)の2層構造で作られており、コンパクトながら水中・水上におけるスローロープとして、雪上の補助用ロープとして使い易いように設計されております(PP及びポリエチレンは、ナイロンに比べ水に濡れても強度がほとんど低下しない特徴があります)。

警告

- フローティングロープは登攀用ロープの必要機能とは大きな相違があり、登攀用として必要な引張強度や衝撃を吸収緩和するロープの伸度・耐摩耗強力・耐熱性などを持ち合わせておりません。これらの理由により登山・ロッククライミングなどでの登攀・フィックス・懸垂・補助用ロープとして絶対に使用しないでください。間違った使い方をしますと重大な事故につながる恐れがありますのでご注意ください。
- 本品はロープも含め消耗品です。使用頻度や紫外線暴露等により劣化を生じますので、ロープの被覆の磨耗度合い・退色度合い等を判断して、安全のために早めの買い替え及びロープの交換をお願いします。

保管の方法

使用後は砂・泥などの汚れや海水などを真水で洗い流し、ロープを出したまま日陰の風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。十分に乾燥し終わったらロープをバッグに収納させて、屋内・野外のどちらであっても直射日光の当たらない場所を選んで保管してください。ロープの収納方法は、バッグの入り口をいっぱいに広げて、リフティングテープをお腹側に吊るして、ロープに背を向けた状態で肩越しにロープを引張りながら両手でロープがからまないように、バッグの底の方から順に押し込んでいきます。中でロープが絡まっていますと、バッグを投げた際に目標物まで届かなくなるだけでなく、事故の危険を増やすことになります。

使用方法例

カヤック、沢登り、スキーツアーやそのレスキューは経験を必要とする行為です。経験が浅い人は経験豊かな指導者の下でのみ本製品を使用してください。また、本製品を確実に使いこなすには、普段からの練習が必要不可欠です。指導者・同行者の方と安全を確保した上で繰り返し練習してください。

スローバッグ(ゴージュバッグ)レスキュー ～川の漂流者をレスキューする方法～

<救助者>

1. 救助者は、全体がよく見渡せて安定の良い川岸で、下流側に漂流者を引き寄せやすいエディー(岩陰などにできる、流れのない、または、逆流している箇所)などのある場所に足場を確保します。
2. スローバッグの口を開け、端を2～3m程度引き出します。投げ方の手にスローバッグ本体、もう一方の手にロープを持って待機します。
3. 声やホイッスルを使って、漂流者の注意を自分の方に引き付け、ロープを投げることを知らせます。
4. 漂流者に直接バッグが当たるように狙いを定め、スムーズで安定した動作でアンダーハンドスローでバッグを投げます。
5. 自分自身の安定を確保します。ロープをたぐり寄せ緩みを少なくしておき、漂流者の動きに合わせて、テンションが掛かりそうになったら少しロープを繰り出すようにするとショックを和らげることができます。この時、ロープの端を何かに縛りつけたり、ロープを背中に回したり、ロープの下流側に立ってはいけません。
6. 漂流者を振り子のように、慎重に岸に寄せます。この時の位置は、漂流者を引き上げやすい場所で、再度レスキューロープを投げることもできる場所を選んで、調整します。常に、漂流者からは目を離さず、声をかけて漂流者とコンタクトをとり続けます。

<漂流者>

1. 救助者の声やホイッスルをしっかり聞き、ロープをすぐにつかめるように準備します。
2. 両手でしっかりロープを握ったら、素早く仰向けの姿勢をとり、呼吸をしやすいくします。
3. 片方の手を胸の上、もう一方の手を肩の位置に置きしっかりロープを握ります。ロープを持っていることが危険になったときにすぐにリリースできるよう、エンドループに手を通したり、ロープを腕に巻きつけてはいけません。
4. 流れの力も利用するために、頭を上がる岸の方に向けフェリーアングルをとります。

警告

- ロープを腕に巻きつけたり、エンドループに手首を通したり、体やライフジャケットに直接ロープを縛り付けることは非常に危険ですので絶対にしないでください。
- ロープの下流側に立つことは、ロープに巻き込まれる可能性があるため危険です。
- ロープを扱う場合には最悪のことを考えて、各自がナイフを携帯することをお勧めします。
- ホールやハイドロロック(漂流物を補足する循環流)がある場所では、漂流者にロープが絡まる危険性があり、ロープの使用を見合わせるか、慎重に使用する必要があります。



装着例1: クイックレスキューベルトにゴージュバッグ 25 を装着。デジーチェーンにカラビナ装着(カラビナは付属していません)、リフティングテープで開口部をロックしバッグ内のロープ脱落を防止。



装着例2: ハーネスにゴージュバッグ 15 をカラビナで装着(カラビナは付属していません)。



株式会社 **finetrack**

〒652-0064 神戸市兵庫区熊野町 1-1-4

http://www.finetrack.com Tel/Fax 078-512-2636